

## 令和5年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 市民生活部市民協働課

施設名	泉野多目的コミュニティ施設
施設の設置目的	地域住民の避難場所並びにコミュニティ活動及び子育ての場としての機能を有するとともに、市民や事業者が多目的な活動を行う場所を提供するため。
所在地	弘前市大字泉野三丁目6番地2
指定管理者名	泉野町会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	<p>施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね適正な管理運営が実施されている。</p>
2 自主事業の実施状況	<p>廃品回収(2件)、AED講習会を合計3回実施した。</p>
3 市民サービス向上のための取組状況	<p>施設の清掃のほか、冬期間の入口、非常口前の除雪など、環境整備に努めている。</p>
4 市民ニーズの把握の実施状況	<p>アンケート調査により利用者からの意見、希望を把握し、施設管理、運営に反映できないか検討している。</p>
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	<p>令和5年度の利用許可件数は1,667件、利用者数は17,268人となっており、前年度と比較すると、件数、利用者数ともに減少した。 (参考: 令和4年度 利用許可件数1,438件、利用者数14,577人)</p>
6 指定管理業務の収支状況	<p>施設管理に支障がないよう経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。</p>

## 7 実地調査の結果

施設内外の維持管理、各種書類の作成・保管の整理、経理の状況等適正に実施されていた。

## 8 成果指標の達成度

利用件数: 目標 1,080件 実績 1,667件 達成度154.3%  
 利用者数: 目標16,220人 実績17,268人 達成度106.4%

## 9 評価

## (1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	A	利用者のニーズに耳を傾けて気持ちがいいと喜んで利用していただいている。	職員の資質の向上のため研修、会議等を行う。
施設の管理	A	閉館、開館の施錠確認のためのチェックリストを作成し、十分注意を払っている。	常日頃のチェック体制を強化し、安全性を高めたい。
経理の状況	A	毎月の利用額を把握し、節約等に心掛けている。	書類の整理を徹底し、常に整頓を心掛ける。
団体の財務状況	B	安定的な経理基盤を有している。	自立できるように、自主事業等でPRして利用者を増やす。

## (2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	A	アンケート実施により、利用者の意見、要望の把握に努めた。また、自主事業を実施し、施設の周知、利用者増加を図った。	今後も基本的なサービス向上を図るためのアンケートの実施、利用者増加を図るための魅力的な自主事業の実施に期待する。
施設の管理	A	施設の清掃のほか、冬期間の入口、非常口前の除雪など、環境整備に努めている。	今後も利用者の安全のため、設備の保守、適正な管理に努めていただく。
経理の状況	B	経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。	今後も、適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も、安定した財務状況を維持していただく。

## 【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の待遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

## 【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

## ※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する